

建築士

おおた

秋季号

2021 NO 127



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 公益事業の成果	中津支部 山村 増治 大分支部 市野瀬康平 別府支部 籠田真一郎 佐賀関支部 上田 亮
08 インフォメーション (支部便り)	臼杵支部 板井 優也 宇佐支部 西胤 和弘
11 マイワーク	津久見支部 高瀬 幸伸 佐伯支部 長田 孝治 豊後大野支部 伊東 勇治
14 我が街の建築士紹介	大分支部 寺谷 郁宏 大分支部 粉 航平 別府支部 秋吉 俊亮 別府支部 内藤 嘉則
16 マイベストブック	宇佐支部 安部 信二 中津支部 日高 雄介 高田支部 後藤 憲二
18 我が街紹介	豊後大野支部 伊東 勇治
19 マーポーの旅先日記	会 長 井上 正文
21 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

湯けむり坂

別府支部 新山 俊則

令和3年度 公益事業の成果

中津支部

中津支部 山村 増治 建築無料相談会の再開と空き家相談会への参加

中津支部は、10数年前まで建築無料相談を行っていましたが、色々あって機能しなくなっていました。

昨年、中津支部事務局への建築に関する相談が多くなってきたことから、建築無料相談を中津支部の事業として取り組むための話し合いが行われ、1年後の今年から公益事業として再開することになりました。

中津支部会員から無料相談員を募り9名が集まり、その9名で相談者に対して順番に対応していく体制を作りました。相談者へは電話対応が基本ですが、内容によっては相談員が必要に応じて適宜対応することにしており、相談内容と相談者への対処内容は、「建築相談 調書」と「建築相談 報告書」を作成し、相談員が閲覧できる情報として残すことで、知識の向上と経験値のアップ、相談者への助言や対処方法の均一化が図れると期待しています。

そんな中、中津市が年3回行っている空き家相談会に、建築士会から相談員を出せないかとの依頼があり、6月と8月に延べ6名の相談員が参加しました。



建築相談 調書

申請者		ふりがな	氏名
連絡先住所		〒	
TEL		-	
相談対象の建築物概要		所在地	
用途		<small>(住宅・アパート・店舗など)</small>	
工事種別		<small>(新築・増築・リフォームなど)</small>	
構造		<small>(木造・鉄骨コンクリート造・鉄骨造など)</small>	
階数			
築年数		<small>(又は建築年月)</small>	
相談内容			

受付 2021年 月 日

建築相談 報告書

申請者		ふりがな	氏名
連絡先住所		〒	
TEL		-	
相談対象の建築物概要		所在地	
用途			
工事種別			
構造			
階数			
築年数			
相談内容			
* 建築の相談内容を転記してください			
担当者 氏名	相談場所		
報告書作成日	持参資料		
相談回数	相談形式	<input type="radio"/> 電話相談 <input type="radio"/> 直接相談	
相談対応日時	その他		
【備考】			
【担当者 考察】			

受付 年 月 日

主には空き家に対する相談なので、相談員として同席している宅地建物取引士が対応することが多いですが、建築基準法や耐震性に関する部分は建築士が対応することになります。

2回の空き家相談会では、建築士として対応すべき相談は少なかったですが、相談者の抱える問題は十人十色です。それぞれの問題に対し適切な回答と対応が出来ることが建築士に求められていると感じました。

建築無料相談を続けることで、地域への貢献と、建築士としての知識の向上を目指します。

大分支部 市野瀬 康平 オオイタベンチプロジェクト 敷戸地区のまちづくりイベント（第4回しきど青空マルシェ）への参加

大分支部青年部まちづくり班では、昨年度からベンチ作成ワークショップを開催するなど、大分市敷戸地区のまちづくりに参加させていただいています。

敷戸地区では、大分県住宅供給公社が所有・管理する集合住宅の1階店舗においてコミュニティカフェ「大きな樹」を営む戸伏氏を中心に多世代交流が進んでおり、その一環として、年に数回マルシェを開催しています。

7月17日のマルシェにおいて、建築士会まちづくり班、大分大学の柴田研究室、(株)丸京石灰及び鶴崎工業高校建築科と共催で、①しきど団地おりがみ建築ワークショップ、②しっくい灯籠づくり、③ベンチ作成ワークショップを実施しました。



受付・ワークショップ風景

あいにくの天気で、大雨に見舞われたため、マルシェの他の店舗の規模が縮小される中、我々は当初計画どおり1階部分のアーケードのように軒が出ている下で実施しました。

①しきど団地おりがみ建築ワークショップでは、主に建築士会と大分大学が対応しました。子供たちに現地の集合住宅をベースにしたおりがみ建築を作ってもらい、その周りに画用紙を広げて、建物前のスペースにあったらいいものを書いていきます。

更に色紙等で装飾をしながら仕上げました。芝生やすべり台の設置など楽しい作品が出来上がりました。子供たちに楽しんでもらいながらニーズ調査を同時に行うものです。

出来上がった作品は、しばらくの間コミュニティカフェに飾らせてもらい、次回の現地の方とのまちづくりの話し合いを行うときにイメージを共有する時に活用します。



おりがみ建築制作中

最初、大学生は折り紙建築を指導するポイントを理解するところから始まりました。軒先の細い柱など緻密な作業があり、とても集中していました。



しきど団地おりがみ建築

②しっくい灯籠づくりは、主に(株)丸京石灰と鶴崎工業高で対応しました。小さい子供に人気でした。



しっくい灯籠づくり製作中

まずは、しっくいを手のひら大にとり、ビンの周りに薄くこすりつけて白くなった後に、厚く塗り付けていきます。それが終わると、窓部分をくりぬいたり、棒状に小さく丸めたものを塗り付けて装飾していきます。子供たちの中には全体で顔を表現したりと個性豊かな作品もありました。しっくいは、数日間かけて周りのCO₂を吸収して白く固まっていきます。完成後にキャンドルを灯すと、優しい火が周りを満たして癒されました。作品は子供たちに持ち帰ってもらいました。

③ベンチ作成ワークショップでは、建築士会と鶴崎工業高校が対応しました。



ベンチ製作中

段取りよく2つのベンチの組み立てを行いました。参加した一般女性の方の中には初めてインパクトドライバーを使った方もいました。作成したベンチは現地に寄贈し活用される見込みです。

今回は、屋外での折り紙建築やしっくいなど初の試みを行いました。まちづくり班で改善点の検証をして次のワークショップに活かしていきたいと思います。また、今後も、敷戸地区のまちづくりに大分大学と共に入り込んでいき、ベンチを使ったまちづくりの可能性を探ってきたいと思います。



別府支部 籠田 真一郎

国東半島の海岸景観調査

1. はじめに

建築士会の会員数が減少し、支部単体での事業の実施が今後もさらに厳しくなっていくことが想定されているため、複数の支部で連携して、事業を実施していくこととしました。それにより、士会活動の維持や強化につながっていくことが期待できると考えています。

今回は国東半島に関係する別府、国東、高田、宇佐の4支部の合同で公益事業を実施しました。大分市と大分空港を結ぶホーバークラフト航路の復活を契機に、改めて国東半島の海からの景観について調査・検討していくこととしました。

2. 現地調査①（海上調査）

- ・日時：令和2年10月18日(日)
- ・調査方法：船からの景観を調査
- ・調査順路

- ①大神港→②西大分（かんたん～うみたまご沖）
- ③楠港沖→④日出港（寄港～若宮八幡へ）
- ⑤大神港

第1回目の調査は、大神港を出港し、別府湾を一周するというコースでした。山並みに囲まれた別府の市街地と大分の工場地帯との対比や、ホーバークラフトの発着候補地の西大分、緑豊かな日出城址など、海からの景観を調査しました。



調査順路（現地調査①）



調査船（現地調査①）



うみたまごから別府を臨む（現地調査①）

3. 現地調査②（海上調査）

- ・日時：令和3年1月31日(日)
- ・調査方法：船からの景観を調査
- ・調査順路

- ①富来港→②伊美港沖→③姫島港周遊→④富来港

第2回目の調査は、国東の富来港から姫島を一周して戻るコースでした。自然豊かで、山並みが特徴的な国東半島、様々な角度で特徴的な景観が堪能できる姫島などの海からの景観を調査しました。特に姫島の北側はなかなか観ることがないので、貴重な経験でした。

令和3年度 公益事業の成果

佐賀関支部

佐賀関支部 上 田 亮

幕末の志士が往還した伊予街道の保全活動について

今年度の支部公益事業は昨年に引き続き「幕末の志士たちが往還した伊予街道を小学生と巡るウォーキング大会（仮称）」を11月の開催に向けて7月から準備活動を開始しました。

今回の活動は、大きく2つ行いました。1つ目はウォーキングする街道の整備、2つ目はウォーキング大会当日のスケジュールやガイド場所等の確認のためのリハーサルです。



まず、1つ目の街道整備です。

この日はあいにくの雨の中でしたが、支部会員8名、佐賀関ボラガイド5名、鶴崎歴史文化研究会4名、地元まちづくり協議会5名、日本文理大学の1年生28名と引率者2名の合計52名が参加しました。

9時に道の駅さかのせきに集合し、各団体からの挨拶と活動内容の説明の後、学生と各団体とでチーム編成し、3班作り、1班は道の駅さかのせきから西谷橋まで、2班は西谷橋から築山古墳まで。3班は、築山古墳から馬場古墳までの間を各班で整備範囲の担当を決めました。

私は、2班に属し、当日のウォーキングルートを手図で確認しながら、道に覆いかぶさるように成長した草木を、小学生が通るときに障害にならないように整備していきました。

当日の雨の影響により、ルート上の山道などの道が悪くなってしまっていた箇所は入ることができず、残念ながら作業を断念せざるを得ませんでした。



しかし、そんな中でもなんとか整備できた箇所では、学生たちも雨で視界や足元が悪い中、本番当日を考えながらの草刈りに精を出していました。



街道整備も終盤に差し掛かると、雨も止み、天気も回復してきました。改めて初めの集合場所の道の駅さかのせきに集まり、2つ目の本番当日のガイドリハーサルに移りました。

ガイド役の渡邊豊基さんを先頭に、当日のウォーキングルート歩きながら、途中にある佐賀関軽便鉄道敷や駅の名残や古墳や神社仏閣及び神崎海浜公園等での説明を行い、実際にかかる移動時間やガイド説明時間の測定を行いました。

雨による道の悪さや時間の都合によりいくつか省いたルートはありましたが、最後まで歩き終えることができました。



道中では、入学してまだ3か月ほどしか経っていない学生同士で交流しながら歩く姿や、説明を真剣に聞く様子が伺えました。時間配分に関しては、本番の小学生の参加人数や小学生の歩くスピード、すべてのルート歩いた時間等を考慮すると、もう少しルートの変更や時間配分の見直しが必要のようです。

最後はこうざき海水浴場にて、弁当を食べてこの日は終了しました。



整備活動やリハーサルでたくさん歩いたため、支部会員たちはくたくたになっていましたが、学生たちは、ご飯を食べ終わったら浜辺で遊んでいる姿も見受けられ、年代のギャップが感じられました。(笑)

今後の活動としては、本番のスケジュールの見直しや、今回雨でできなかった箇所での街道整備と街道筋に案内道標の設置を行う予定です。



なお、街道ウォーキング大会は、11月6日(土)に開催の予定でございますが、詳細の案内は、別途各支部へご案内申し上げます。その際には会員の皆様の参加をよろしくお願いいたします。

追記、今回の活動は7月20日の大分合同新聞に掲載されました。

2021年07月20日(火) 朝刊

佐賀関街道きれいに



真ん中、園生1号舎治にある佐賀関街道の道を歩いている大分県

11月にウォーキング大会

【大分】大分市佐賀関の歴史を学ぶついでに、地元団体や生が18日、園生1号舎治にある佐賀関街道(約4km)の手入れをした。幕末に勝海舟や坂本龍馬ら長門への旅で往還したといわれる。11月に同街道で開催するウォーキング大会に向け、コースを準備した。

海舟・龍馬恩祭の道

地元団体、学生がコース整備

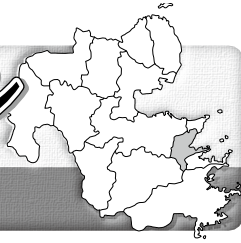
県議士会佐賀関支部の後援職員(58)市木建設部次官IIの呼び掛けで、佐賀関ボランティアガイド協会(さき)が主催するウォーキング大会、日本文壇大分町団体が集まる中、約50人が参加して、分かれ、奉山道(西谷橋)と花財を歩学しながら、カマヤ道の草を刈った。

同大分県選挙区1年の安藤元隆さん(18)、安藤光扶さん(19)は「本報が見る海もあり、すごくきれい。歴史を感じるコース」と感慨深げ、渡辺さんは「佐賀関の歴史的名所を歴史化につなげ、次世代に継承したい」と話す。

1864年に勝海舟はランタ、米岡、英国、フランスの4国の下関砲撃を中止させるため、幕府から長崎出陣を命じられた。梅津塾の塾頭坂本龍馬と神戸を出航し、2月15日に佐賀関の徳心寺に宿泊している。

秋に再び道を刈り、24日に「佐賀関街道 海舟・龍馬恩祭の道」と書いた道標を設置する予定。ウォーキング大会は地元小学生ら約100人の参加を見込んでいる。

(坂本陽子)



白杵城址における 櫓の劣化状況調査

白杵支部 板井 優也

この調査を企画するきっかけとなったのは、市の文化財担当者からの相談でした。

内容は、「50年スパンで行う櫓の大規模修理計画に関する事で、折り返し時期にあたる今年、その経過を調査し、必要に応じて修繕を施したい。つまりは大規模修理までの間を繋ぐ修繕計画を検討したい。」という趣旨でした。

今年はコロナ禍の影響もあり、思うような支部活動が行えず燻っていたところ、調査研究部としては地元の建築と向き合う良い機会であり、調査環境も人が密になりにくいテーマであると考え、ぜひ協力させて欲しいということで、取り組ませていただきました。



県指定文化財である白杵城址（白杵公園）には、豊櫓、卯寅口門脇櫓、大門櫓の3つの櫓が存在しており、直近の保存修理工事完了からは20年程度が経過しています。

特に大門櫓は、士会の先輩方が平成の復元事業に関与しており、図面や写真の提供に加えて、当時の貴重な経験談も聞かせていただきました。

お借りした資料を見ていくほどに、活動の熱量に

圧倒され、負けてはいられないと感じます。

櫓を文化財に準じる建築物として捉えた場合は、調査の難易度が跳ね上がってしまいますが、我々は建築士であり学芸員ではありません。

建築に携わる者としての得意な分野で協力するという前提のもと、調査内容を設定していきました。

調査隊は、主に設計事務所と地場ゼネコンに勤務しているメンバーで構成されていた為、経年や風水害に起因する劣化状況の調査報告と、仮設計画を含んだ修繕工事の概算見積り、修繕方法の提案等を主な成果品として位置づけ、現地調査を開始しました。



調査は主に外観・内観の目視による現地調査と、損傷部の報告や改善策の提案を行う検討会の2パートで構成し、1日1棟として3回に分けて実施し、必要に応じて追加調査を行うという手法を採用しました。

3日間の調査で明らかになった櫓の状態は、各棟でバラつきはありましたが、屋根や小屋組みの損傷については共通して軽微であり、特段の手当ては必要ないとの意見が多数を占めました。

一方で、礎石に接する土台や柱脚に一部腐食が確認された点については、礎石が県指定史跡であり、原則手を加えられないという扱いを考慮して、修繕方法と環境の改善策を検討しているところです。

また、日差しや降雨による化粧木材の劣化部分は、耐候性塗料等の再塗布が必要だろうという指摘や、格子窓や銃眼（雨戸は付いている）開口部からの雨水侵入跡が確認できる為、対処が必要との意見も多数ありました。

具体的な修繕・改善の手法については、報告期限として定めた10月までの間に、市と協議しながら詰めていく形となります。

また今回の調査に合わせ、臼杵城址と櫓についての理解を深める目的で、外部講師を招いての勉強会も開催しました。

現臼杵公園の城としての歴史や、臼杵の櫓の特徴、臼杵城廃城から「公園地」となるまでの経緯といった内容について、全3回の学習会でしたが、生まれた町のことでありながらまだまだ知らないことばかりだと大変感動しました。

臼杵城址と櫓の調査・研究は、かつての都市計画や、地元の建築史にも繋がっているのだと感じます。

これはとても身近で興味深いテーマだと思うのですが、その面白さが伝わらなければ関心の無い方々から共感は得られないでしょうし、効果的な広報の手法というのなかなか思いつきません。

今回の劣化状況調査についてはコロナ禍への配慮から、人が集まりすぎても良くないというジレンマを抱えていました。



しかし、建築資源の利活用や、今後の町興しにも繋がる話であれば、より多くの人を巻き込んだ方が良い方に転がるのではないのでしょうか。

近年では全国的に「城泊」や「SDGs」といった切り口から、準文化財的な建物の保存・利活用の在り方について、様々なアプローチが行われています。

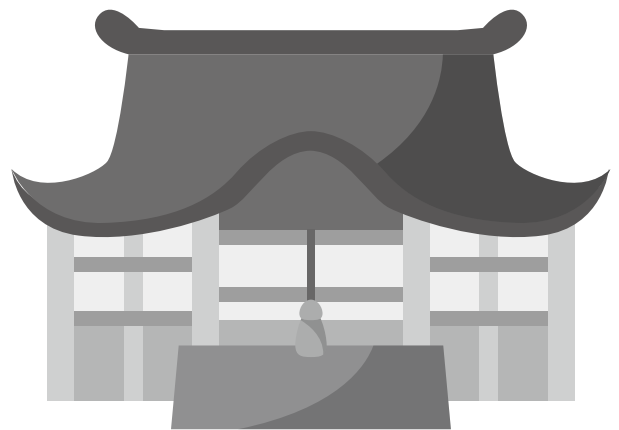
自治体の懐事情や、時世の流れもあつての事とは思いますが、価値ある建物に手を加え、プラスアルファを求めるという方針転換は、少し考えただけでも大変な事業であり、舵を切ったところは本当に凄いなと思います。

また一方では、主たる建物には手を付けずに残し、周辺エリアを整備することで観光資源としての新たな価値を付加する素晴らしい運用をしているところもあります。

これらは方向性としてどちらが良いとは言いきれませんが、臼杵市の資源を生かすにはどの手法が適しているのかも判断が難しいところです。

保存と活用、歴史と観光等の、それぞれの異なる長所を両立できればそれが一番望ましいと思いますが、半端な折衷案で既存の価値を落とすことだけは避けなければなりません。

櫓を含む地元の建築資源を、より良い形で後世に残していく為にはどうすればいいか、今後も検討を続けていきたいと考えています。





支部会員の活動報告

宇佐支部 西 胤 和 弘



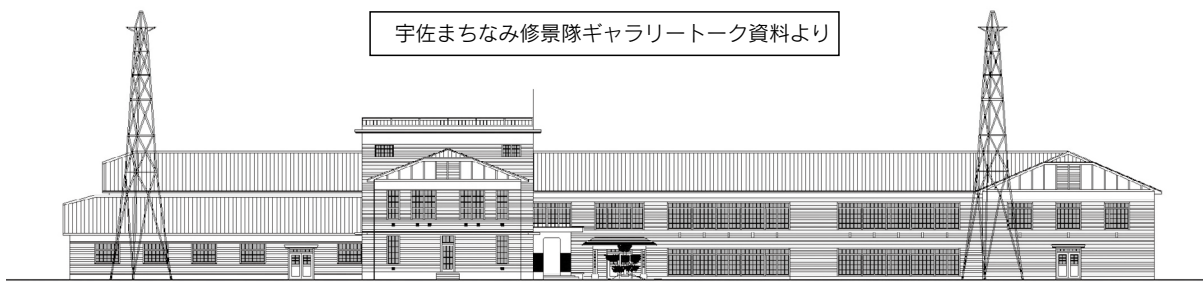
学生寮：窓廻り詳細図



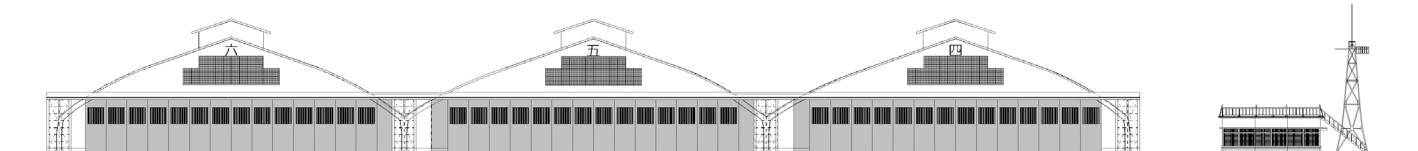
今後は、より詳細な復元立面図の作成、格納庫構造フレームの図面化等を行い、新たな模型の製作等に取り組む必要があると考えています。



宇佐まちなみ修景隊ギャラリートーク資料より

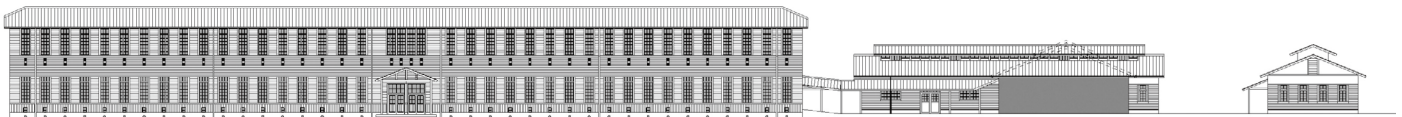


本部庁舎東側立面図



九七式艦上攻撃機 格納庫

指揮所 鉄塔



兵舎南側立面図

MY WORK

- ★建物名称 グリーンヴィレッジ中津
有料老人ホームとデイサービスと
倉庫新築工事
- ★建築場所 中津市犬丸
- ★用途 有料老人ホームとデイサービス
- ★床面積 (老人ホーム/軽量鉄骨) 1,136.45㎡
(ピザ釜棟/木造) 24.00㎡
(老人ホーム増築/木造) 1,075.14㎡
(デイサービス棟/木造) 295.89㎡
(倉庫棟/木造) 81.15㎡
- ★構造 軽量鉄骨造平屋(1期工事)
木造平屋(増築工事)
- ★設計者 意匠設計: (株)たかせ a o
軽量鉄骨構造設計: 大和リース(株)
木構造(ボックスビーム): 慧設計
- ★施工者 大和リース(株)(1期工事: 軽量鉄骨)
伊藤建設(株)(2期増築部分: 木造/デ
イサービス棟)
wood land(1期ピザ釜棟+2期倉庫
棟)

★設計趣旨

とにかく『ソフト面で温かい老人ホームに!』
と1期工事は、外壁とインテリア壁緑化計画、薪
ストーブに加え、ピザ釜棟を作りました。

入居者・スタッフとも楽しく暮らせるような施
設になりました。好評により予定にはなかった増



施設全景



ピザ釜棟



薪ストーブ



外壁緑化計画



インテリア壁緑化計画

築計画が持ち上がりました。

「やっぱり木造が良い」ということで、地元の工
務店さんと中庭のある1000超えの木造建築を準
耐火構造で作りました。

接続部分は木造耐火でつなぎました。デイサー
ビス棟は、ボックスビームでとばした140㎡の無
柱空間です。ポニーの小屋はホームのスタッフの
手作りです。



中庭



ポニー小屋

MY WORK

- ★建物名称 いちご薬局
- ★建築場所 大分県佐伯市
- ★用途 薬局
- ★床面積 37.90㎡
- ★構造 木造平屋
- ★設計者 有限会社 御手洗設計
- ★施工者 谷川建設工業 株式会社
- ★設計趣旨

外観と使いやすい間取りをお施主様と共に考えて、イメージした建物です。



MY WORK

- ★建物名称 リバーパーク犬飼 トイレ棟
- ★建築場所 豊後大野市犬飼町田原
- ★建築主 豊後大野市
- ★用途 公衆トイレ
- ★床面積 37.90㎡
- ★構造 木造平屋
- ★設計者 後藤篤建築設計事務所
- ★施工者 首藤工務店
- ★竣工 令和2年3月
- ★設計趣旨

スポーツレクリエーション施設として開園して

いるリバーパーク犬飼。施設内の遊具広場に隣接する本建物は子どもに親しみやすさを求めた設計とした。広場、駐車場側から見て開けた外観とし、子供用トイレに加え子どもたちが元気よく遊んだ後、手足を洗う所に明るい洗面を設けた。

また、一部外壁には、犬飼町のキャラクターであるどんちゃん、こんちゃんの魚影を模した模様を施している。公衆トイレといえば、暗く汚いというイメージを払拭する為、便所内はハイサイドライトで自然光を取り入れることで、本施設の利用中、この公衆トイレに立ち寄りたくなるような計画とした。



道路側からの外観



開けた外観



魚影を模した外壁



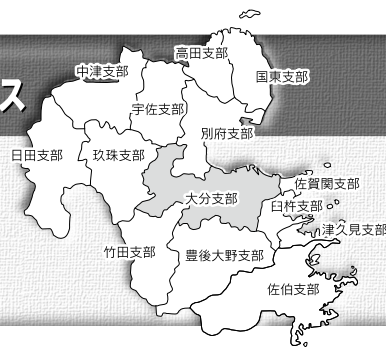
子供用のトイレ、手足の洗い場

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 寺谷 郁宏
- ★生年月日 昭和62年
- ★勤務先 株式会社 大有設計
- ★趣味 映画・動画鑑賞、スポーツ観戦、競馬
- ★将来の夢、モットー等

株式会社大有設計 建築設計部の寺谷と申します。一級建築士の取得をきっかけに建築士会に入会しました。建築士会の活動を通して同世代の建築士や他事務所の方との幅広い交流ができ、入会して良かったと感じております。

また、青年部情報班に所属し、接遇講習や二級建築士製図対策講習などに携わっております。

今後も積極的に建築士会の活動に参加し、交流を深めたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。

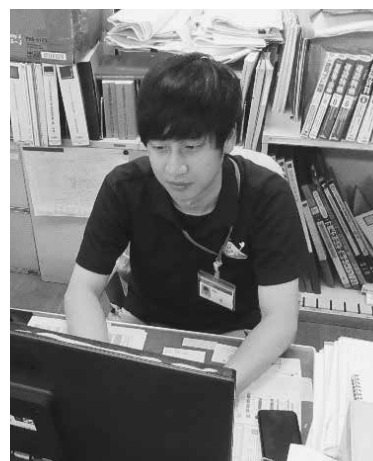


寺谷 郁宏 (大分支部)

- ★氏名 粉 航平
- ★勤務先 大分市役所
- ★将来の夢、モットー等

大分市役所土木建築部建築課の粉と申します。市役所に勤務して5年目になります。5年目になってもまだまだ学ぶことが多く、日々勉強に励んでいます。

今後も、建築技術の向上に努め、市役所職員として市民の皆様の役に立てるよう日々頑張りたいと思います。皆様、よろしくお願致します。



粉 航平 (大分支部)

BOOK My Best Book

マイベストブック

『大分あるある』

著者：あべ 由紀子／画：みやあき むつえ／出版：TOブックス
宇佐支部 安部 信二

大分ならではのがあるあるネタを集めた本で、大分県人にしかウケないかもしれません。

この本を読んだとき、東京本社のあるゼネコンに勤務していて、世田谷でマンションの現場監督をしていた時のことを思い出しました。

「〇号室の玄関掃わいといて」、「終わったら部屋の中にある資材をなおしといて」と職人に言ったとき、ポカンとされました。

この本の中にも出てきますが、「掃わく」「なおす」は大分弁で、何回かやり取りした後「監督、掃くってことだろう、掃わくなんて言われたって解かりゃしねえよ。」「なおすってのは修理することで、監督が言いたいのは、しまうとか片すってことだろう。」という、ちょっとした出来事でした。

以下、本の一部を紹介します。

- 文章中に「大分」と書いてあると「だいぶ」ではなく「おおいた」と読んでしまう。
- 大分のニュースは猿の話題がトップで流される。
- トキハの紙袋が家に何枚もある。
- 「やつしか～やつしかの～天気予報～♪」はみんな歌える。
- 別大マラソンが全国中継されるのが嬉しい。
- 「離合する」「一寸ずり」「ほおきで掃わく」は標準語だと思っている。
- 子供のころに親から「ちゅーかんたれ」と注意されたことがある。
- 久しぶりにあった人に「なんしょんの～?」と言う。
- 財布にはジョイフルのドリンクバー券が入っている。
- 「国東」「安心院」「鉄輪」をきちんと読める。
- 初めてのギャンブルはラクテンチのアヒル競争。
- 竹田市を「たけだ」と読まれるとモヤモヤする。
- 臨海産業道路を40メートル道路という。
- 大分大学は「ぶんだい」大分高校は「いたこう」。
- とんちと言え一休さんではなく吉四六さん。

などなど、大分にまつわる話が満載の一冊です。

2015年の発行なので今はもう手に入らないかも知れませんが、一気に読める本です。





My Best Book



マイベストブック

『自分の仕事をつくる』

著者：西村佳哲

中津支部 日高 雄介

働き方研究家の西村佳哲氏による働き方シリーズの第1弾です。

著名な方、あるいは社会で素晴らしい実績を残されている方が、その方法論について述べられている本は昨今よく見ますが、この本がそういった多くの仕事本と決定的に違う点は、その前提である「いい仕事とは何か」「いい仕事を生み出している人は何が違うのだろうか」といった事に着目して書かれている事です。仕事について、「自分自身の内面を掘り下げ、何が嬉しくて何に不快感を感じるのか、それは何故なのか。」について深く考えさせられる本を他に知りません。

本の内容の多くは著者が30歳に独立した直後にご自身の思う、素敵な仕事を生み出されている方に会いに行き、直接インタビューを行うという内容です。

柳宗理さんの「デザインの為のデザインではなく」、象設計集団の町山一郎さんの、「手を動かす以外の時間が仕事を面白くする」、ルヴァンの甲田幹夫さんの「矛盾の無い仕事」といったお話に特に深く共感しました。

また、著者ご自身が働き方研究家を自称されており、本文の合間に書かれる働き方論についても共感する部分が多かったです。

「こんなもんでいいや」という気持ちで作られた仕事は、それを手にした人の存在を否定する。一方で丁寧に時間をかけて細部まで妥協を感じさせない仕事は、あなたは大切な存在で生きている価値があると受け取った人に伝えている等。

色々な働き方が生まれている昨今ですが、自分が大切にしたい事は何か、仕事を通して人に何を手渡したいのか。常に手元に置いて考えたい一冊です。



『東大卒僧侶の「お坊さん革命」』

著者：松本 圭介

高田支部 後藤 憲二

この黄色い表紙と東大卒僧侶のお坊さんの革命の題字が気になりパラパラとめくって中身を見て面白そうだと思い購入した。

内容はだまかに言うと、東大哲学科を卒業した在家の男性が僧侶となって、その問題点を超克すべく奮闘された様々な事柄のレポートである。

最初は、一般人向けの本かなと思って読んだが、僧侶向けでもあるんだなと対象がどうもはっきりしないように読んでいたが、全ての人が対象かな。

お寺との関わりはどんな感じ？

自分は、菩提寺が同級生の家であるため昔からよく出入りしているが、同級生の家という部分を除くと身内の葬儀、法事及びお寺の改修時の協力以外はほぼ関わっていない。

本書で書かれているように、「仏教は死んだ人の為のものではない。今を生きる我々の為のものなのである。」社会の教科書で江戸時代やそれ以前の世の中では仏教はそういう扱いだっただかすかな記憶の中にある。でも現実には、時代と共に宗教に求められることも変わってくる。そうであるのならば、僧侶もいつまでも昔ながらを繰り返してはいけない。時代に合わせて変わっていくことが今後の宗教に求められている。お葬式だけでなく、「今を生きる」人に開かれたお寺への道を拓こうとし、お寺を開放する試みとしての「お寺カフェ」、コンサートなどのイベントやインターネットによる発信など様々な活動を通じて、今に生きる仏教・お寺のあり方を模索する。

真宗の僧侶ではない人が読んでも、お坊さんの「本音」以上のものが聞けるので大変おもしろい。



我が街紹介

豊後大野支部 伊東 勇治

我が街豊後大野市は海に隣接せず温泉も無く、夏場は全国的にもトップクラスの気温を記録する事もしばしば。佩楯山、鎧ヶ岳、祖母・傾山からなる山々に囲まれた盆地のような地形をし、車が無ければ日常の買い物も一苦労するそんな街です。

しかし、起伏に富んだ地形によりいくつもの河川を集めた大野川の豊かな水利により農業を営む方が多く盛んです。市内の至る所に道の駅や直売所が見受けられ、農家さんたちによって丹精込めて育てられた野菜や果物が沢山販売されています。また、大分県内25箇所在る道の駅の内「道の駅あさじ」「道の駅おおの」「道の駅きよかわ」「道の駅原尻の滝」「道の駅みえ」の5箇所が豊後大野市内に在ります。特徴的な形状をした建物や観光名所に隣接したもの、中九州自動車道からのアクセスが容易な立地などそれぞれ個性あふれる施設となっています。

そんな道の駅も各所に経年による劣化、老朽化が進んでおり、各道の駅は感染症対策を含め創意工夫しながら営業をし、豊後大野市では長寿命化計画の策定等による建物に対する対策を行うなど少しでも長く、安全に施設を利用できるように対策を行い、利用者からも愛される施設となっています。



道の駅あさじ



道の駅おおの



道の駅きよかわ



道の駅原尻の滝



道の駅みえ

豊後大野市内の至る所にある道の駅は国道326号線、502号線、県道57号線沿いに在り、各道の駅を巡ると豊後大野市を一周できるようになっています。天気の良い日は、季節ごとに変化がみられる豊後大野市の道の駅を一日かけて巡る旅を試してみるのも良いでしょう。





マーボ어의旅先日記 その15



会長 井上正文

「湖東の国宝建造物を訪ねて」

前回の日記でも述べた通り、琵琶湖周辺は多くの歴史文化があふれています。滋賀県内に現存する国宝建造物は15ヶ所にも及びます。今回は、琵琶湖東部（湖東地域）の2つの国宝建造物を紹介しましょう。

このように全国の国宝建造物を巡っていると思わぬ建築や歴史・文化は言うに及ばず面白い出来事に出くわすことがあります。今回も、そんな話を交えてお話ししましょう。



写真1

2つの国宝建造物がある「西明寺」と「金剛輪寺」を目指すべく、最寄りのJR 稲枝駅に降り立ちました。バス等の公共交通機関が発見できず、やむなく駅前に停まっていたタクシーに乗り込み、行先を告げました。しばらくすると、車窓から「豊郷町役場」のサインを発見。豊郷町といえば、ヴォーリズ設計の豊郷小学校のある地だと直感しま

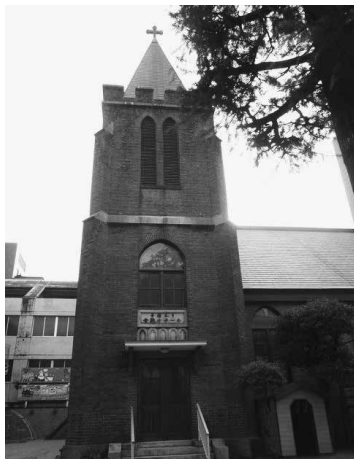


写真2

した。旧豊郷小学校（写真1参照）の保存問題では、町全体が大揺れに揺れて町長選挙にまで発展したと記憶しています。ここで少し「ヴォーリズ（ウィリアム・メレル・ヴォーリズ）」の紹介をしておきましょう。1905年に来日して、永年にわたり全国各地に多くの西洋建築を設計した建築家です。また、「メンソレータム」を全国に普及・販売した実業家の顔をもっていました。私事ですが、私は幼少期に福岡県久留米市で暮らしていて、その当時、通った幼稚園はヴォーリズが設計した「日本福音ルーテル久留米教会」（写真2参照）の附属施設でした。



写真3

さて、話を国宝巡りに戻しましょう。まずは甲良町の「西明寺（池寺）」です。ここは鎌倉時代初期の創建で、国宝指定の本殿（写真3参照）はよく鎌倉様式を残した建物です。同じく、国宝指定の三重塔（写真4参照）の内部は極楽浄土が描かれています。また、この境内にはみごとな回遊式庭園



写真4



写真5



写真6

(写真5参照)があり、国指定名勝庭園となっています。次は、愛荘町の「金剛輪寺(松尾寺)」です。ここも鎌倉時代の創建で、元寇の役の戦勝記念として建立されたようです。本堂(写真6参照)が国宝指定で、入母屋の豪壮な造りです。

ここで紹介した「西明寺」「金剛輪寺」に加えて「百濟寺(ひやくさいじ)」は「湖東三山」と称されているとのこと。今回の国宝巡りは、JR 稲枝駅—(豊郷町経由)—西明寺—金剛輪寺—JR 稲枝駅の経路を珍しくタクシーだけを利用して回りました。それぞれのスポットでタクシーに待ってもらっての巡回で、ゴールのJR 稲枝駅でのタクシー料金支払いが少し気にはなりましたが、想定内の料金でおさまりました。(笑)



写真7



写真8

これらの寺院近くには、時々頂く機会もある日本酒「大治郎」(東近江市)(写真7参照)や「松の司」(竜王町)(写真8参照)も。これらの日本酒も琵琶湖に流れ込む清い「水」で醸されたことに想いを致した次第。

写真リスト

- 写真1 旧豊郷小学校(ヴォーリス設計)
- 写真2 日本福音ルーテル久留米教会(ヴォーリス設計)
- 写真3 西明寺本堂(国宝)
- 写真4 西明寺三重塔(国宝)
- 写真5 西明寺回遊式庭園
- 写真6 金剛輪寺本堂(国宝)
- 写真7 湖東の銘酒「大治郎」
- 写真8 湖東の銘酒「松の司」



事務局だより

■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について
連合会のHPに以下の内容が掲載されております。
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請
4. 国土交通省の対応
5. 関連情報

■委員会活動報告及び予定

総務委員会（法務部会）

調査研究・歴史的建造物合同委員会

<第1回>

令和3年8月5日開催 コンパルホール
議題

1. 歴史的建築物等の保存活用に係る調査研究
2. 財務会計状況と永年会員等会費のあり方
3. 広報委員会を情報広報委員会とする規約改正
4. その他本年度の取組

<第2回>

令和3年10月予定

事業委員会

- 「積算講習会」の開催について
- ・昨年度より検討してまいりました、積算講習会を開催いたします。
- *詳しくは **案内9** の欄をご覧ください

防災委員会

<第1回>

令和3年7月9日 アートプラザ
議題

1. 防災委員会の活動内容
2. 大分県知事との「災害発生時における住家の被害認定に関する協定」に基づく対応
3. 災害ボランティアネットワーク協議会（連絡会）への参加
4. 罹災証明に必要な住家の被害認定調査に係る技術者養成研修会
5. 応急危険度判定先遣隊

6. 斜面地防災
7. その他 九州沖縄設計4団体災害ネットワークでの取り組み

<第2回>

令和3年10月以降に、罹災証明技術者研修会を開催予定（中津市・竹田市）

広報委員会（編集部会）

<第1回>

令和3年7月31日

- ・建築士おおいた秋季号 No.127 編集部会開催

<第2回>

令和3年9月9日
議題

1. 「建築士おおいた」今年度の編集計画
2. ホームページの更新
3. 規約改正 IT化に向けた取り組み
4. BIMに向けた取り組み
5. 会員への情報伝達

<第3回>

令和3年9月11日

- ・建築士おおいた秋季号 No.127 編集部会開催

<第4回>

- ・令和4年1月予定

■事務局からのお知らせ

案内1

「建築士の集い 大分大会」の開催について

- ・令和3年8月21日 J:COMホルトホール大分で開催予定でありましたが、中止となりました。今後につきましては、改めてお知らせいたします。

案内2

「九州まちづくり塾」の開催について

- ・令和3年8月20日～21日、姫島村を主会場に開催予定でありましたが、延期となりました。今後につきましては、改めてお知らせいたします。

案内3

「建築士会全国大会広島大会」の開催について

・令和3年11月21日、広島市にて開催予定でしたが、広島での行事は中止となりました。式典、表彰式は東京にて行う予定です。今後につきましては、改めてお知らせいたします。

案内4

「令和3年度 第30回全国女性建築士連絡協議会（福岡）」の開催について

テーマ「未来へつなぐ居住環境づくり」

開催日時：令和3年9月25日(土)

オンライン（Zoom）開催

会場：アクロス福岡

案内5

「建築士定期講習」開催について

これからの講習日程は、以下のとおりです。

○日時：令和3年12月14日(火)

場所：大分職業訓練センター

受付窓口：建築士事務所協会

受付：9月1日(水)～定員次第

詳細は、(公財)建築技術教育普及センターHPをご覧ください。WEBからでも申込できます。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

※令和4年3月(日付未定)対面により開催(大分市)

※動画配信による講習も実施中

申込等詳細は事務局までお問合せ下さい。

案内6

「監理技術者講習」について

(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

○「毎月第2水曜日」に開催します。

○時間：8:50～16:40〔受付8:30開始〕

※8:45～8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会場：(公社)大分県建築士会会議室

○形式：DVD講習

○定員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円／

窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

案内7

「既存住宅状況調査技術者講習（更新・新規）」の開催について

改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

【更新講習】

開催① 令和3年10月15日(金)

開催② 令和4年2月21日(月)

時間：受付13時～講習13時40分～16時40分

定員：各45名(申込受付順、定員に達し次第締切)

会場：①②とも 大分職業訓練センター大研修室

受講者：国土交通省の既存住宅状況調査技術者講習制度の講習を修了した既存住宅状況調査技術者

※他団体で既存住宅状況調査技術者の資格を取得された方も受講できます。

※受講時点で、既存住宅状況調査技術者の資格が有効期限内である方に限ります。

受講料：17,600円【WEB申込：17,000円】

(税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む)

【新規講習】

開催：令和3年11月1日(月)

時間：受付9時～講習9時40分～17時

定員：25名(申込受付順、定員に達し次第修了)

会場：大分職業訓練センター 303講義室

受講者：建築士(一級、二級、木造)が対象

受講料：22,000円【WEB申込：21,450円】

(税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む)

※申込方法等詳細は、(公財)日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

・インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。
詳しくは、連合会のホームページをご覧ください。

案内8

「増改築相談員研修会」開催について

日 時：令和3年11月18日(木) 8:30～17:30
(新規受付：8:00～ 更新/再登録受付：12:30～)
場 所：大分県教育会館
受講料：新規 25,000円 更新 16,000円
※申込方法その他の詳細は、後日、案内します。

案内9

「積算講習会」開催について

第1回 10月30日(土) 13:30～16:40
コンパルホール
「公共工事の発注者支援業務」「公共工事における積算業務」
「講習その1：総則・躯体(RC造)-1」
講師：大分県建築住宅課
公社)日本建築積算協会九州支部
第2回 11月6日(土) 13:30～17:00
ホルトホール大分
「講習その2：躯体(RC造)-2」
講師：(公社)日本建築積算協会九州支部
第3回 12月11日(土) 13:00～16:30
ホルトホール大分
「講習その3：躯体(RC造)-3・躯体(S造)」
講師：同上
第4回 1月15日(土) 13:30～17:00
ホルトホール大分
「講習その4：仕上げ-1」講師：同上
第5回 2月19日(土) 13:30～17:00
ホルトホール大分
「講習その5：仕上げ-2・改修」
講師：同上
○定員：35名程度(建築士会会員優先)
○受講料：5回で¥2,000(会員)
¥4,000(非会員)
○テキスト：「建築数量積算基準・同解説」(H29年版)を各自ご用意ください。
○申込は、事務局まで。

案内10

「第10回アートプラザ建築キッズ作品展」作品募集中
対 象：県内居住の小中学生
募集期間：～令和3年11月12日(金)まで
※応募用紙等、詳細はアートプラザHPをご覧ください。

報告1

「第1回理事会」について

令和3年5月21日(金)に、コンパルホールにおいて本年度第1回理事会が開催され次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 令和2年度事業報告及び決算報告
2. 理事の選任
3. 本会表彰規程に基づく表彰

報告2

「通常総会」について

令和3年6月11日(金)に大分市コンパルホール多目的ホールにおいて次の内容について開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を絞り込んで小規模な開催としました。
次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 令和2年度事業報告及び決算報告
2. 令和3年度事業計画及び収支予算
3. 理事の選任

報告3

「第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議」について

令和3年7月30日(金)にホルトホールにおいて次の内容について開催されました。

1. 支部からの質疑・協議事項
2. 公益事業の提案と事例の発表
3. 来年度の建築セミナーの開催地
4. 各支部管内における防災活動について行政との相互連絡・連携
5. 報告事項

会務行事案内

【10月～3月】

10月

- 10日(日) 一級・木造製図試験
- 13日(水) 監理技術者講習
- 15日(金) 既存住宅状況調査技術者講習 (更新)
- 24日(日) 大分市空き家相談会
- 30日(土) 積算講習会

11月

- 1日(月) 既存住宅状況調査技術者講習 (新規)
- 6日(土) 積算講習会
- 10日(水) 監理技術者講習
- 18日(木) 増改築相談員研修

12月

- 8日(水) 監理技術者講習
- 11日(土) 積算講習会
- 14日(火) 建築士定期講習会 (協会担当分)

令和4年1月

- 1月～3月 会員増強特別期間
- 12日(水) 監理技術者講習
- 15日(土) 積算講習会

2月

- 9日(水) 監理技術者講習
- 19日(土) 積算講習会
- 20日(日) 大分市空き家相談会
- 21日(月) 既存住宅状況調査技術者講習 (更新)

3月

- 9日(水) 監理技術者講習
日時未定 建築士定期講習会



広報委員

委員長 長 員 員
〈大分〉 宮 崎 隆 博
〈別府〉 山 本 健太郎
〈高田〉 清 末 幸 生
〈大分〉 後 藤 悟
〈大分〉 竹 宮 浩一郎
〈佐伯〉 志 賀 智 昭
〈日田〉 佐 藤 敏 孝
〈中津〉 日 高 雄 介

編集委員

担当常務理事 員
部 会 長 員
部 員
〈大分〉 宮 崎 隆 博
〈高田〉 後 藤 憲 二
〈大分〉 高 橋 大 介
〈大分〉 丹 生 孝 太
〈別府〉 小 山 秀 輝
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦
〈津久見〉 竹 田 光 徳
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐賀関〉 井 上 雅 順
〈豊後大野〉 伊 東 勇 治
〈竹田〉 伊 東 政 博
〈玖珠〉 後 藤 聖 和
〈日田〉 熊 谷 高 則
〈中津〉 日 高 雄 介
〈宇佐〉 古 市 憲 司

建築士おおいた

2021.10 No. 127

(非売品)

令和3年9月24日 印刷

令和3年9月28日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0065	臼杵市大字家野 576 番地の 1 春建築設計室内	090-6779-7057
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会